

平成25年度市長施政方針

「びっしょり押しっしょり」で協働のまちをびっしょり

選択と集中のもと、効率的で質の高い行政運営に努めながら、第3次狭山市総合振興計画の目標達成に邁進

平成25年第1回定例会市議会(会期:2月22日～3月18日)で、仲川市長が市政運営に向け、施政方針を述べました。その概要と25年度の重点事業をお知らせします。

施政方針を述べる
仲川市長



私は、市長就任以来、まもなく10年を迎えようとしています。この間、市の将来像である「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向け、第3次狭山市総合振興計画に位置づけた諸施策に取り組みでまいりました。今後も、限られた行政資源で市民サービスを推進するため、選択と集中のもと、効率的で質の高い行政運営に努めながら、計画の目標達成に邁進してまいります。新年度も、後期基本計画の柱である「協働の推進」、「子育て支援」、「都市基盤の整備」をキーワードに、積極的に施策に取り組みます。

協働の推進では、「わたしたちが創る、笑顔あふれるまち狭山」を基本理念とし、ガイドラインに位置づけた協働事業を推進していくとともに担い手の育成とコーディネート支援を充実します。子育て支援では、保育園保育所の事業者との協働で、「もったいないで見直す私たちのライフスタイル」をキーワードに、不要なものは断ることや、ごみの減量・再利用・資源化の普及啓発を図ります。また、稲荷山環境センターは、安全・安定した運転を行うため、計画的な改修に努めます。

建て替えと民間保育所整備への支援による保育所待機児童の解消を図ります。

都市基盤の整備では、狭山市駅東口土地区画整理事業と入曽駅東口地区市街地開発事業、狭山市駅上諏訪線整備事業に取り組みます。

25年度予算案の総括

歳入について、市税のうち、市民税は減額、固定資産税と都市計画税はほぼ同額、市たばこ税は増額としました。地方交付税は、普通交付税を減額、特別交付税を増額としました。国庫支出金と県支出金は増額としました。繰入金は増額、市債は減額としました。歳出について、第3次狭山市総合振興計画後期基本計画の取り組

みを効果的に推進するため、狭山元気大学事業費、窓口業務の効率化を進める総合窓口対応システム構築事業費、防災・減災対策として公共施設の耐震補強事業費や校舎などの屋上を利用した太陽光発電システムの設置事業費、教育環境の向上を図る小・中学校校舎空調設備改修事業費のほか、障害者基幹相談支援センターの事業費や農業振興事業費など、行政需要に配慮した予算配分を行いました。この結果、一般会計の予算規模は、前年度対比0.6%増の415億2千万円となりました。また、特



今後3年間で、30施設に太陽光パネルなどを整備(写真は入間川小学校)

別会計は、国民健康保険、狭山市駅東口土地区画整理事業、介護保険、後期高齢者医療のいずれの特別会計も増額、合計では、前年度対比5.0%増の277億9千627万2千円となり、公営企業会計88億574万円を加えた全会計の予算規模は、前年度対比1.9%増の781億2千201万2千円となりました。

緑豊かで環境と共生するまちをめざして【環境共生】

地球環境の保全は、第2次狭山市環境基本計画に基づき、地球温暖化防止対策を目的とした自然エネルギーの活用促進を図るため、引き続き住宅用太陽光発電システム設置補助事業に取り組みます。

緑地保全の推進は、平地林をはじめ、斜面緑地の保護や市街地に残された緑地についても、みどりの基金を活用しながら保全に取り組むとともに、市民団体などとの協働による緑地保全活動を推進します。

快適な生活環境の確保は、空間放射線量の定期的な簡易測定を引き続き実施・公表するとともに、市民からの相談に対応します。循環型社会の形成は、市と市民

元気で幸せに暮らせるまちをめざして【健康福祉】

仕事と子育ての両立支援は、定員増を伴う保育園保育所新園舎の整備に取り組むとともに、民間法人による入曽地区の認可保育所の開設や水富地区への定員90人の新たな認可保育所の整備を支援します。さらに、今後、学校法人による認可保育所の整備予定もあるため、計画に定めた保育所定員数2千人を上回る施設整備が、26年度に実現することとなります。また、施設や設備の老朽化が進む公立保育所の計画的な改修を進めます。

健康づくりの推進は、地域における健康づくり活動を展開していくとともに、成人保健や母子保健の充実に向け、引き続き生活習慣病の予防やがん検診、予防接種事業などに取り組みます。地域福祉の推進は、市民などへ

健康づくりの推進は、地域における健康づくり活動を展開していくとともに、成人保健や母子保健の充実に向け、引き続き生活習慣病の予防やがん検診、予防接種事業などに取り組みます。地域福祉の推進は、市民などへ

の啓発に取り組むとともに、さまざまな団体の交流やネットワークづくりを支援します。また、地域福祉の中核を担う民生委員・児童委員が、より活動しやすい環境の整備に努めます。

介護サービスの充実は、在宅の要介護高齢者の生活を支えるため、日中・夜間を通して訪問介護と訪問看護を一体的に実施する「24時間対応定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業所の開設に向け、準備を進めます。

障害者自立支援の促進は、地域社会における共生の実現に向けて、日常生活・社会生活の支援が、総合的かつ計画的に行われるよう、基幹相談支援センターの充実など、引き続き福祉サービスの提供に努めます。

快適で魅力のあるまちをめざして【都市基盤】

狭山市駅東口土地区画整理事業は、地区の骨格となる都市計画道路の整備を中心に、区画道路の整備や建物移転などを進め、事業の早期完成を目指します。

入曽駅東口地区の整備は、市南部の地域拠点にふさわしい駅前となるよう、新たな基本方針のもと、



重点事業として整備を進める狭山市駅上諏訪線

都市計画決定と事業認可の取得に向けた取り組みを進めます。都市計画道路は、事業認可を取得した狭山市駅上諏訪線の中央児童館東交差点から国道16号までの区間について用地買収を進め、整備を推進します。

一般市道整備などの生活道路整備は、市道整備計画による道路改良を進めるとともに、老朽化が進む幹線道路などの舗装改良などに取り組み、歩行者や車両の安全確保を図ります。

橋りょうの維持・保全は、長寿命化修繕計画を推進します。

水道事業は、安全で安心な水を安定的に供給するため、計画的な施設の更新や維持管理の一環として、稲荷山配水場の更新事業に着手します。下水道事業は、汚水対策として市街化調整区域第3期事業を引き続き推進するとともに、水道・下水道両事業の経営基盤の安定に努めます。